

セーフコミュニティいずみおおつ

第
14
回

自殺予防対策委員会でゲートキーパー養成研修を実施



分野別対策委員会

事前指導に向けた準備が始まる

第9回分野別対策委員会が、7月も3日に分けて開催されました。

会議では、引き続き課題に対する目標や対象を検討するとともに、10月に「事前指導」が予定されていることから、これまでに議論した内容の再確認や資料作成の準備が行われました。

また、23日の高齢者の安全犯罪防止の対策委員会には、オーストラリアのセーフコミュニティ支援センターのミーガン・ブラザートン氏が視察され、「オーストラリアと日本では国も言葉も異なるが、コミュニティとして抱える課題は似ているものが多い。さまざまな団体や市民の代表が議論することは、安全・安心のまちに向けて、今後大きく進む」と感想を述べられました。



第9回対策委員会

セーフコミュニティ「事前指導」を開催します！

昨年6月の活動開始宣言から取り組みを進める泉大津市セーフコミュニティ。このたび、国際認証の取得に向けた本審査のリハーサルとして「事前指導」を開催します。

事前指導とは、海外から専門家を招いて、分野別対策委員会などの活動内容について中間報告を行い、今後の活動をより良いものとするためにアドバイスをいただくものです。どなたも自由にご覧いただけますので、ぜひご来場ください。

日時 10月15日(木)・16日(金) 午前9時～午後4時30分(午前8時30分受付)

会場 テクスピア大阪(旭町22-45)

内容 パネル展示、各分野別対策委員会からの報告、現地視察、審査員による講評

※現地視察は一般公開対象外となります

「命の門番」ゲートキーパー
悩みに気づき適切な機関へつなぐ

7月10日、自殺予防対策委員会において、自殺に関する基本的な知識や適切な対応について理解を深めるため、ゲートキーパー養成研修を実施しました。

大阪府こころの健康総合センター、和泉保健所の職員を講師に招き、自殺の原因や傾向、ゲートキーパーの役割、話を聞く際の声や姿勢といった傾聴技法などについて会話のロールプレイを交えた講義が行われました。

ゲートキーパーは「命の門番」と言われ、悩みのある人に気づいて声をかけ、話を聞いて、適切な機関や支援者につなぐことが求められています。受講後は、「相手のペースに合わせて話を聞くことの大切さを学んだ」との感想がありました。

問合 危機管理課(市役所4階)



ゲートキーパー養成研修

国は違えど地域の抱える課題は同じ

オーストラリアセーフコミュニティ支援センターの方が来日されるにあたり、到着日に泉大津市で開催された二つの対策委員会を視察されました。委員会で議論している内容を聞いて、「国が違っても抱える課題は同じですね。だからこそ、国を越えて互いに学ぶことができますね」とおっしゃいました。10月の海外の専門家を招いての現地指導も、本審査に向けてのリハーサルになるとともに、新たな学びの機会になると期待しています。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

